

授業科目名	日本語学（3）	単位数	2単位
担当教員名	乾 浩	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
（1）日本語の「文法」について理解する。 （2）外国語として日本語を捉え、客観的に日本語を見直す視点を養う。 （3）自分の言語生活を内省する能力を育成する。			
授業の概要			
この授業では『日本語教育』で学修した知識を前提に「文法」について、更に深く学ぶことを目的とする。外国語としての日本語を客観的に見つめ、日本語学習者に日本語を教える際に必要な日本語の中で「文法」の知識を幅広い面から考察していく。			
授業計画			
第1回：1. 日本語文法と国文法 2. 文型教育：表現文型のリストと提出順序 3. 品詞分類 第2回：4. 動詞の活用 第3回：5. 日本語の文法的特徴 第4回：6. 名詞文「～は～です」 7. 主語と主題 第5回：8. 「こそあど」詞：指示詞 第6回：9. 形容詞 10. 「～たい」と「ほしい」：希望・欲求の表現 第7回：11. 動詞と表現意図 12. 「いる」と「ある」：存在文と所在文 第8回：13. 自動詞と他動詞 第9回：14. 「～ている」 15. 可能表現 第10回：16. 使役表現 第11回：17. 受身表現 第12回：18. 授受表現 第13回：19. 助詞 第14回：20. 「は」と「が」の用法 第15回：21. 「を」の用法 22. 「に」と「で」の用法 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
「動詞の活用」「自動詞と他動詞」「～ている」を中心に復習する。			
テキスト			
高見澤孟（2016）『増補改訂版 新・はじめての日本語教育1』アスク、978-4872179934			
参考書・参考資料等			
必要に応じて適宜紹介する。			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			